平成２６年度　江東区立深川第八中学校　自己評価表

校長名　栗生　忠義

目標に向けた取組についての自己評価

重点領域１	確かな学力の向上を図る。

項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
1	全教員が「こうとう学びススタンダード・八中オリジナル」を実践するとともに「わかる授業」を１００％実施し、基礎学力の定着を図る。	９４％	・生徒アンケートで「こうとう学びスタンダード八中オリジナルを実践した生徒が１００％とする。 ・生徒アンケートで「基礎学力が向上した」及び「わかる授業」を受けた生徒が９０％以上とする。	７６％	B
2	全学年が基礎学力の定着に向けた「朝学習」、「定期考査前補習」、「長期休業中補習」、「年９回の各種コンテスト」を実施する。	９４％	授業・朝学習・各種コンテスト・定期考査前補習・長期休業中補習に全生徒が１００％の達成目標に向けて取り組む。	７８％	B
3	英語と数学の少人数指導と英検・数検・漢検の実施を学校体制で取り組むとともに土曜・放課後学習教室を年３５回実施以上する。	１００％	生徒アンケートで、英語と数学の少人数指導、土曜・放課後学習教室、英検・数検・漢検の学習で学力が向上したと回答する生徒が８０％以上とする。	８６％	B
4	全教員が授業改善推進プランに基づき「思考力」「表現力」「書く力」「話す力」を育成する学習活動を展開する。	９４％	生徒アンケートで「学習したことをレポート・課題作品づくり等でまとめたり、発表したりする力が向上した」と回答する生徒が８０％以上とする。	７２％	B

＜結果についての分析と改善策＞
・学びスタンダード・八中オリジナルの１００％定着に向けて取り組んできたが、生徒アンケートの達成度は昨年度同様標語Ｂに止まった。学習意欲の低い層への取り組みが重要である。
・基礎学力の向上に向けた取組では標語は昨年度同様Ｂであるが、３「学力が向上した」は昨年度の５５％から８６％と大幅に向上した」。さらに生徒の学習意欲を高める工夫をしながら基礎学力の向上を進めたい。
・まとめたり発表したりする力は昨年度の達成度は標語Ｃであったが、授業改善が進み大きく前進した。この結果に満足することなく、今後も教師主導の授業から、生徒が主体的に考えたり話し合ったり発表する授業を推進する必要がある。

重点領域２	主体性を育み、将来の目標や夢に向かい自己実現を図る意欲を育てる。

項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
1	運動会・文化祭・合唱コンクール等の学校行事で協力・団結心を育み、達成感・充実感を味わえる取り組みを充実する。	１００％	生徒アンケートで「学校行事で協力・団結できた」、「学校行事で達成感・充実感を味わえた」と回答する生徒が１００％とする。	９１％	A
2	「働く人学ぶ学習」「職場体験」「上級学校訪問」「進路学習」を各学年が実施し、キャリア教育・進路選択の充実を図る。	９４％	生徒アンケートで「自己の将来の目標や夢に向かって努力することが大切である」と回答する生徒が、９０％以上とする。	７７％	B
3	生徒会主催による「地域清掃」・「ボランティア活動」を年２回以上実施する。	１００％	生徒アンケートで「進んで地域清掃やボランティア活動を行ったと回答する生徒が８０％以上とする。	６６％	B
4	全教員が部活動の顧問を担当し、運動部・文化部の部活動の活性化を図る。	１００％	生徒アンケートで「部活動に積極的に参加できた」と回答する部活動の部員が１００％以上とする。	８３％	B

＜結果についての分析と改善策＞
・行事や部活動で達成感・充実感を味わえている生徒が多い。今後も引き続き保護者・生徒のニーズに応える取組を進めていく。
・「努力することは大切である」の標語Ｂは昨年度と同じだが、達成度は６２％から１５％伸び７７％となった。素直な心を忘れずに努力し続けている生徒の姿がわかる。今後さらに、自己有用感を高めるなどして向上心を持った生徒の育成を推進したい。
・ボランティア活動の達成度は６６％に止まった。しかし、地域清掃への参加は１５０人を越えている。また、今年度は被災地を支援するチャリティーマラソンにも地域を巻き込んで取り組むことができ、多数の生徒が参加し、助け合いの心を学ぶことができた。
・この３年間で新設したバレーボール部、野球部、美術部は活動は軌道に乗り活発に活動している。途中で退部する生徒が少なく部員、顧問ともよく取り組んでいる

重点領域３	豊かな心・社会性の育成を図る。				
項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
１	道徳教育を充実し、学級・学年経営計画に基づく生徒の「思いやり」の育成への取組を全学級・学年で１００％実施する。	100%	各学期の振り返りカード、学校評価のアンケートで「思いやりの心をもって学校生活を送れた」と回答する生徒が９０％以上とする。	９３％	A
２	豊かな心の育成を図る行事・体験活動を前後期２回以上実施する。（盲目のピアニストによるコンサート・アイマスク体験、保育実習・福祉体験 芸術鑑賞教室等）	100%	振り返りアンケートにおける『「感動」「思いやり」「共生」「生命尊重」の項目で重要である』と回答する生徒が１００％とする。	１００％	A

＜結果についての分析と改善策＞
・道徳の授業は年間３５時間以上実施することができた。標語は昨年度のＢからＡに前進した。全校生徒が思いやりの心を持ち、穏やかな生活を１年通して送ることができた。
・盲目のピアニストコンサート、アイマスク体験と盲導犬についての講演、ミュージカル歌手や登山家、ＪＡＸＡ職員の講演、芸術鑑賞教室、保育実習など、その道のプロを招いて「感動」「共生」、「生命尊重」の気持ちや態度を育む取組が実施できた。生徒の感想文からそれぞれの体験から深く感銘を受け学んだことがわかる。

重点領域４	地域に信頼され、安全な学校づくりを推進する。				
項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
１	年間５日の土曜授業公開、年２回の学校公開週間、保護者会を行うとともにホームページ更新及び学校便り発行を年２０回以上実施する。	９４％	・生徒アンケートで「家庭で学校の話をよくする」と回答する生徒が８０％以上とする。 ・保護者アンケートで「学校の様子がよくわかる」回答する保護者が８０％以上とする。	81％	B
２	小学生による中学校体験、部活動体験、出前授業、交流活動及び幼稚園・保育園との交流を年１回以上に実施する。	100%	中学校への各種体験・交流活動をする小学生へのアンケートで「希望や夢をもって中学校へ進学する」と回答する児童を８０％以上とする。	９５％	A
３	中学校を拠点とした避難所運営会議を年２回以上実施し、地域との連携による防災教育・救命救急訓練を実施する。	100%	生徒アンケートで「災害への正しい知識を理解し、危険を予測回避する能力が高まった」と回答する生徒が１００％とする。	８８％	B

＜結果についての分析と改善策＞
・生徒の「家庭で学校の話をよくする」は６８％の達成度ではあったが、中学生の発達段階では概ね満足できる状況といえる。学校便りは４０号を超え、ホームページの更新は適宜行われ、保護者の「学校の様子がよくわかる」は９４％に達している。土曜を活用した授業公開では毎回 100 名以上の保護者が参観に訪れた。
・今年度は小学生向け学校説明会や学校公開週間で小学生の部活体験を実施した。参加した児童はとても楽しそうであり満足した様子であった。「楽しかった」「中学校に早く入学したい」「中学校では○○を頑張りたい」などの感想が多数寄せられ、児童に夢や希望を抱かせることができた。幼稚園や保育園では実習を主に交流した。園児を喜ばせることができた。今後は中学校から小学校への出前授業を実現したい。
・江東区総合防災訓練もあり避難所運営協議会を年４回実施して地域ぐるみで防災教育を推進してきた。総合防災訓練には１００名を超える生徒が参加し防災意識・減災意識を高めることできた。今後も、さまざまな場面を想定して避難訓練を行い、さらに危険予知・危険回避能力を高め、災害や事故から命を守ることができる中学生を育成したい。

【評語】成果指標（こども側）の達成度に応じて決定する。
Ａ：９０％以上（目標達成とみなし、次年度は新たな目標を設定する）
Ｂ：５０％以上９０％未満
Ｃ：５０％未満（目標や努力指標等を見直す）

＜様式２＞

平成２６年度　江東区立深川第八中学校　学校関係者評価報告書

校長名　栗生　忠義

学校関係者評価委員による評価のまとめ

	学校関係者評価項目	評価のまとめ
1	目標に向けて、児童・生徒は育っている	Ⓐ ・ B ・ C ・ D
2	目標に向けて、教職員は努力している	Ⓐ ・ B ・ C ・ D
3	自己評価の達成度・評語は適切である	A ・ Ⓑ ・ C ・ D
4	目標・指標は適切である	A ・ Ⓑ ・ C ・ D
5	自己評価の分析・改善策は適切である	A ・ Ⓑ ・ C ・ D
6	学校関係者評価のための資料は適切である	A ・ Ⓑ ・ C ・ D
7	学校関係者評価のための説明は分かりやすい	Ⓐ ・ B ・ C ・ D
		A ・ B ・ C ・ D
		A ・ B ・ C ・ D
		A ・ B ・ C ・ D
		A ・ B ・ C ・ D
		A ・ B ・ C ・ D

【評価のまとめ】項目ごとに、各委員がつけた点数の平均を計算する。
（Ａ：３．４以上　Ｂ：２．６以上３．４未満　Ｃ：１．８以上２．６未満　Ｄ：１．８未満）

＜協議や自由意見の主な内容＞
○制服が新しくなり、学校の評判もよくなりうれしい。
○教員は熱心に指導している。
○ＰＴＡ活動は、保護者に積極的に参加してもらえるよう工夫が必要。
○学校公開にもっと多くの保護者が授業参観してほしい。
○不登校生徒が各クラスに２名ほどいることには驚いている。解消に向けて努力を。
○自分の意見や考えを人まで堂々と話せる生徒の育成を。
○勉強も大切だが生きる力を身につけて欲しい。
○生徒との信頼関係が築けており、授業の工夫が見られる。今後もさらなる授業改善を。